



DUAL MONAURAL  
POWER AMPLIFIER

No431L/No432L

# 取扱説明書

**harman international**  
ハーマンインターナショナル 株式会社

## 1. はじめに

このたびは、マークレビンソン No430Lシリーズ・パワーアンプをお買い上げいただきありがとうございます。ご使用前に必ずこの取り扱い説明書をお読み戴き、正しい操作で、末長くご愛用下さい。

## 2. 開梱にあたって

No430Lシリーズ各モデルの梱包重量は40kgを越えます。開梱は必ず2名以上で行ってください。開梱、設置を容易にするため、ノンスリップ加工された手袋が付属しています。また、移動の際はスピーカーターミナルなどの突起部を持たず、リアパネルのハンドルと本体前面下部を両手でしっかりと持って運んでください。

外観、機能共に完全な状態でお届けされたことと存じます。もし、万一損傷や故障が認められた場合は、直ちにご購入店にご連絡下さい。

オリジナルの梱包材は、緩衝材等を含め開梱後もお手元に保存下さるようにお薦めします。修理等のために製品を輸送されるような場合、オリジナル梱包以外のもので行った不完全な梱包により損傷が生じてても、責任を負いかねますのでご注意下さい。

## 3. 付属品

本体の他に、下記の付属品が納められていますので、お確かめ下さい。

- AC電源ケーブル×1
- 3P-2P変換ACプラグ×1
- 手袋(軍手)×1組

## 4. 保証について

保証は製品に添付された保証書の規定に基づいて行われますので、保証書をよくご覧下さい。仕様変更、バージョンアップなどに伴うアフターサービスは、保証期間の有無にかかわらず有償となります。また、その際の送料はお客様負担となりますのでご了承下さい。

## 5. 設置

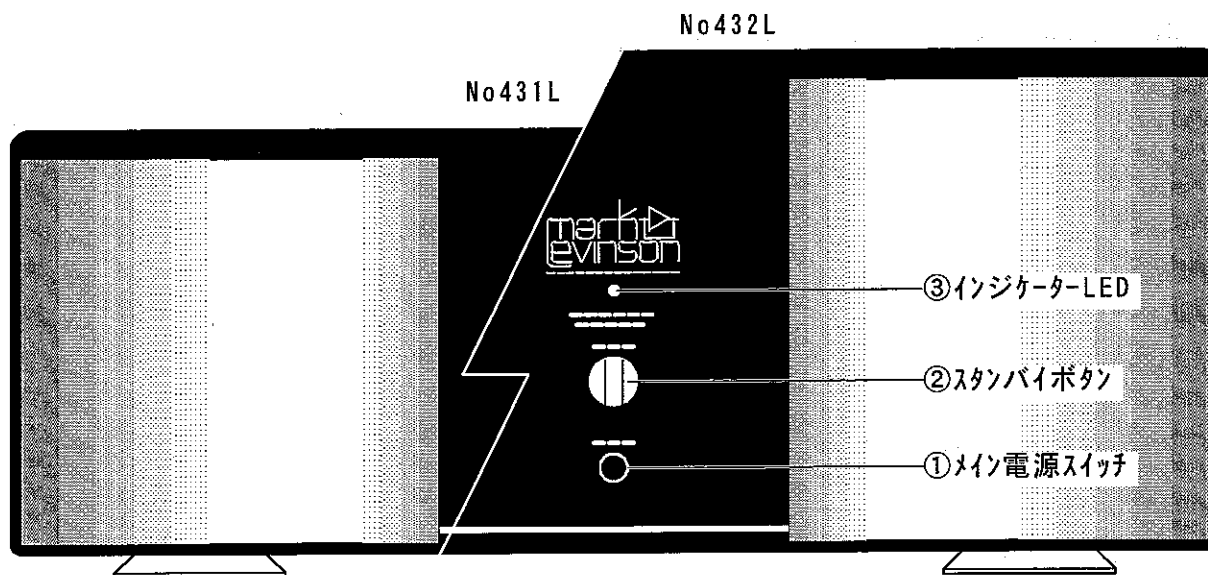
上面のヒートシンク(放熱板)は大量の熱を放射するため、上部には十分な空間を設け、熱の対流を妨げないように設置場所を決めて下さい。

本機は非常に大きな電流容量の電源を持っていますので、アナログ・プレーヤー、ヘッドアンプ、プリアンプ等の微弱レベルを増幅する他の機器の近くに設置すると、誘導ハムを引き起こすことがありますのでご注意下さい。スペース効率を高め、出力特性を充分に発揮させるために、本機をスピーカの近くに設置することをお薦めします。

## 6. 電源

No430Lシリーズは、一般家庭でのご使用に合わせて100Vにセットされています。また、本機は大量の電流を必要とします。電源は他の機器との共用を避け、独立したコンセントを使用して下さい。テーブルタップなどの電源延長ケーブルはご使用にならないようお願い致します。

## 7. フロント・パネル各部の名称と働き



### ① メイン電源スイッチ

ボタンを押し込むことで本機フロントパネルの赤いインジケータが点滅し、メイン電源が入ります。このスイッチはパワーアンプを制御するオペレーション回路と保護回路を働かせるための電源スイッチで、このスイッチの操作だけではアンプのオーディオ回路を働かせることはできません。電源のオン/スタンバイ/オフの操作はスタンバイ・ボタンで行います。

### ② スタンバイボタン

このボタンを押すことにより、インジケータが明るく点灯し本機は動作状態になります。通常、本機を使用しない時はスタンバイの状態にしておくと、主要回路が常に通電されているため、動作状態にした際にすぐに本来の性能を発揮させることができます。動作中にボタンをもう一度押すとスタンバイ状態になり、音は出なくなります。また、ボタンを数秒間押し続けると、本機の主要回路が電源オフの状態になり、インジケータが暗く点灯しスリープ状態になります。

### 《注意》

本機がスタンバイ状態の時、本体上部から熱を発生しますが、これは主要回路が通電されているためで異常ではありません。また、本機はスタンバイ状態で約100Wの電力を消費します。外出の際は必ずメイン電源スイッチにて電源をオフの状態にして下さい。また、長期に渡り外出される際には、フロントパネルのメインスイッチをオフの状態にし、必ず電源ケーブルをコンセントから抜き取っておいて下さい。

本機は次のような異常を感知すると内部の保護回路が働き、自動的に電源をオフの状態にします。この場合、異常が改善されるまで電源は入りません。

- 出力への直流漏れ
- AC電源の過大電圧もしくは電圧降下
- 異常温度上昇

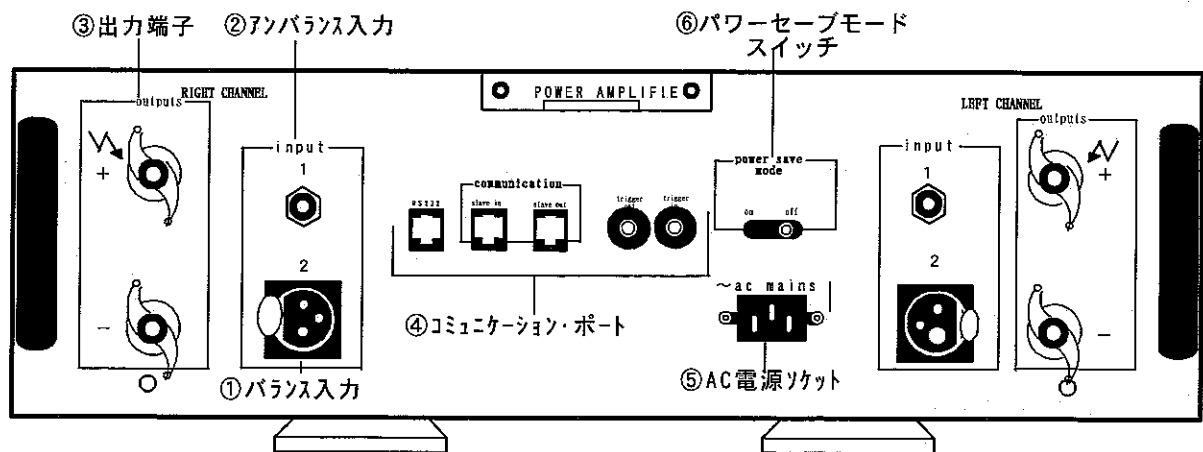
スタンバイボタンを押しても電源がスタンバイの状態にならない場合は、電源や入出力ケーブルの接続を確認してください。接続に誤りがなく、または誤りを訂正しても電源が入らない場合には、ご購入店もしくは弊社サービスセンターまでご相談下さい。

### ③ インジケータランプ

本機が動作状態の時に点灯し、スタンバイ状態のときは点滅します。また、スリープ状態では暗く点灯し、メイン電源が入っていることを示します。

## 8. リア・パネル各部の名称と働き

リアパネルの各部の接続は、接続するすべての機器の電源を切ってから行って下さい。



### ① バランス入力(input 2)

XLRコネクターによるバランス出力を持つプリアンプとの接続に使用します。バランス入力端子の3番ピンと1番ピンの間に差し込まれているショートピンを、ピンセットやラジオペンチなどで引き抜き、XLRメイルプラグを接続してください。抜き取ったショートピンは、本機でアンバランス接続を行う際に必要となりますので、大切に保管しておいてください。

No 430Lシリーズのクォリティーを十分に引き出すため、プリアンプとの接続にはバランス入力の使用をお勧めします。

本機のXLRコネクターは、以下のピン配列になっています。



XLRコネクターのピン配列

- 1 番ピン シグナル・グラウンド(シールド)
- 2 番ピン ホット(プラス)
- 3 番ピン コールド(マイナス)
- コネクターラグ シャーシ・アース

② アンバランス入力(input 1)

RCAタイプのアンバランス出力を持つ機器を接続します。No 430Lシリーズのアンバランス入力を使用する場合には、XLRバランス入力端子の3番ピンとシグナル・グラウンド間に付属のショートピンを差し込んでおいて下さい。

③ 出力端子(+ / -)

スピーカーケーブルを用いてスピーカーシステムを接続します。+ (赤) / - (黒)を間違えないように注意して接続して下さい。

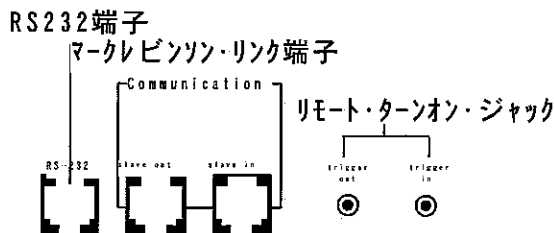
本機の出力特性を十分に発揮させるために、スピーカーケーブルは出来るだけ短くなるよう配線を工夫してください。このため、本機をスピーカーシステムの近くに設置することをお勧めします。

《注意》

スピーカーケーブルを接続する際は、出力端子をショートさせないように十分にご注意下さい。安全のため、スピーカーケーブル端末にはY型(またはU型)圧着端子を取り付けた上でご使用下さい。

トラブルを避けるため、本機の出力端子にシステム・セレクターなどの機器を接続しないで下さい。

④ コミュニケーション/コントロール・ポート(communication/control ports)



1. マークレビンソン コミュニケーション・リンク端子(communication slave in/slave out)

マークレビンソンのNo 32/380Lシリーズのプリアンプと接続し、プリアンプのスタンバイ・ボタンの操作により本機の電源をスタンバイから動作状態にすることができます。また、本機にトラブルが発生した場合、コミュニケーション・リンクが接続されていると、プリアンプのディスプレイに以下の表示が表れ異常が発生したことを知らせます。

表示	異常内容
HOT!	異常温度上昇
DCO!	直流漏れ

コミュニケーション・ケーブルを用いてプリアンプのマスター(master)ポートと本機のスレーブ・イン(slave in)ポートを接続します。No 430LまたはNo 330Lシリーズ・アンプを複数使用する場合には、1台のスレーブ・アウト(slave out)ポートからもう一台のスレーブ・イン(slave in)ポートへと順に接続してください。

コミュニケーション・ケーブルをご入用の際は、ご購入店または弊社サービスセンターへご相談下さい。

## II. RS-232 コンピューター・コミュニケーション端子(RS-232)

パワーアンプのオペレーション・ソフトウェアのバージョンアップやコンピューターを用いたコントロールなどに使用するコンピューター接続用ポートです。コンピューターとの接続には専用のアダプターとソフトウェアが必要ですので、むやみにこれらの機器と接続しないようお願いします。

## III. リモート・ターンオン・ジャック(trigger in/trigger out)

プロシード“p a v”AVプリアンプなど、他のAV関連機器と組み合わせて使用する場合に、各機器のリモート・ターンオン・ジャック(remote turn-on jacks)に3.5φミニプラグ付きケーブルで接続すると、接続した機器のスタンバイ・ボタンの操作により本機の電源をスタンバイから動作状態にすることができます。ミニプラグ付きケーブルをトリガー入力(trigger in)に接続して下さい。複数のアンプを連動させる場合には、アウト端子(trigger out)から他のアンプのトリガー入力に接続して下さい。

本機はDC 5V~12Vのレベル出力(連続出力)を感知した時、動作状態となります。

## ⑤ AC電源ソケット

他のすべての接続が終わったことを確認した上で、AC電源ケーブルをコンセントに接続します。本機には、3極IECソケット付きACケーブルが付属していますので、このソケットを本機のAC電源入力端子に接続した上で壁のACコンセントに接続してください。本機は大量の電力を必要とするため、電源は必ず壁のコンセントに直接接続し、テーブルタップなどの電源延長ケーブルはご使用にならないようお願いします。

## ⑥ パワーセーブモード・スイッチ(power save mode)

リモート・ターンオン・ジャックにより本機の電源を他のAV機器と連動させる際、パワーセーブモード・スイッチがオフ(off)の場合は本機の電源はスタンバイ~オンの間で動作します。パワーセーブモード・スイッチがオン(on)の時、本機の電源はスリープ~オンの間で動作します。

本機はスタンバイ状態の時、主要オーディオ回路は常時通電されているため、電源オンにすることですぐに真価を発揮させることができますが、スタンバイ状態で常時約100Wの電力を消費します。スリープ状態では、リモートセンサー回路を除くすべての回路がオフとなるため、電源をオンにした後本機の真価を発揮させるまでに若干のヒートアップが必要となりますが、待機時の消費電力は両機種とも、約10W以下に抑えることができます。

## 《注意》

パワーセーブモード・スイッチを切り替える際は、必ずメイン電源スイッチをオフにした上で操作を行ってください。

## 9. 保守

お手入れの際には、柔らかい布を使用して乾拭きするようにして下さい。汚れがひどいときには、薄い石鹼水に柔らかい布を浸し、固く絞って汚れを拭きとった後、乾いた布で拭いて下さい。ベンジン、シンナー、アルコールなどの揮発性の液体で拭いたり、近くで殺虫剤を散布したりすることは避けて下さい。

お手入れの際は、本機および本機に接続されている機器の電源を切り、接続ケーブルを外しておいて下さい。

## 10. 規格

モデルNo	No 4 3 1 L	No 4 3 2 L
定格出力 (20Hz~20kHz, THD<0.5%)	200W/ch(@8Ω) 400W/ch(@4Ω)	400W/ch(@8Ω) 800W/ch(@4Ω)
周波数特性(-0.1dB)	20Hz~20kHz	20Hz~20kHz
ノイズレベル(1W基準)	-80dB以下	-80dB以下
入力端子	RCA(アンバランス)×1組 XLR(バランス)×1組	RCA(アンバランス)×1組 XLR(バランス)×1組
入力インピーダンス	100kΩ(バランス) 50kΩ(アンバランス)	100kΩ(バランス) 50kΩ(アンバランス)
利得	26.8dB	26.8dB
入力感度	1W(@8Ω)出力時:130mV 定格出力時:1.82V	1W(@8Ω)出力時:130mV 定格出力時:2.58V
出力端子	大型バインディングポスト×2組	大型バインディングポスト×2組
消費電力(±5%)	スタンバイ:100W 無信号時:175W 定格出力時:1,040W(@8Ω)	スタンバイ:130W 無信号時:260W 定格出力時:1,800W(@8Ω)
外形寸法(幅×高さ×奥行き)	451×150×513mm	451×194×513mm
梱包重量	47.6kg	56.7kg
本体重量	43.1kg	52.2kg

※出力および消費電力は、電源ケーブルを通じて十分な電力供給が得られた場合の数値です。